

令和2年度ステージラボ オンラインセッション ワークショッププログラム 募集要領

公共ホール・劇場等及び地域の文化・芸術に携わる地方公共団体の職員の方々を対象に、オンライン上で実施する研修プログラム「ステージラボ オンラインセッション」の一環として、ワークショップやグループディスカッションなど双方向の少人数ゼミ形式による「ワークショッププログラム」を実施します。地域における創造的な表現活動の環境づくり（文化・芸術を通じた創造性豊かな地域づくり）に取り組む人材の育成と、相互交流の促進を目指します。

■ ワークショッププログラムの概要 ※ステージラボ オンラインセッション全体の概要については裏面参照

日程：令和3年2月25日（木）～2月26日（金）[2日間]
会場：オンライン ※ご自身の職場等から、双方向オンラインツール（Zoom、Google ドライブ、Spatial.Chat等）を使用してご参加いただきます。
定員：15名程度
参加費：無料
主催：（一財）地域創造
対象：公立文化施設（ホール・劇場等）の職員（指定管理者である民間事業者の職員も含む※）および地域の文化・芸術に携わる地方公共団体の職員 ※申込の際、民間事業者の場合は副申書が別途必要

■ プログラム

【紹介メッセージ】コーディネーター 白神ももこ（振付家・演出家・ダンサー）

2020年、新型コロナウイルスの出現で私たちの生活環境が一転してしまい全世界の人が未知なる道を模索していくことになりました。劇場もアーティストもその空間や機構、企画や表現方法を考え直さなくてはならない局面に立たされ、既にさまざまな企画や表現に挑戦している人もいれば、なす術が分からず立ち尽くしてしまっている人もいます。今回のこのプログラムでは、オンラインを利用しながら地域や自分の劇場の特徴などを今一度見直し、参加者やコーディネーター、アーティストとの対話を通して「今何をすべきか」のみならず「今何がしたいのか」を発見し、実際にかたちにしてみるまでを行います。コーディネーターである私自身も初めての試みですし、みんなが初めてのことです。このラボの時間を活用し、色々な能力やノウハウをシェアしながら一緒にまだレールのない未知のものに面白がって取り組めたらと考えています。

【実施内容（予定）】

2月25日（木） ① 10:00～12:00 「自分のことを紹介してみる」

事前課題の動画を使って、自分の職場を紹介し合います。

② 14:00～17:00 「相手のことを聴いてみる、話してみる」

プログラム①の職場紹介をもとにディスカッションを行い、相手が面白いと感じる視点から自分のいるところを見つめ直し、視野を広げていきます。

2月26日（金） ③ 10:00～12:00 「動いてみる、言葉にしてみる」

ダンサーのパフォーマンスをオンライン上で鑑賞・体験し、感じたことを言葉にして相手に伝えます。動きに対するダンサーの考えや鑑賞者の感覚等についてディスカッションしながら、言葉でないものを言葉で表現する方法を見つけていきます。

④ 14:00～17:00 「とにかく、なんとかする」

グループに分かれ、プログラム①～③のワークを踏まえた新たな視点で、グループごとに1本の職場紹介動画の作成を目指します。

*上記時間以外で、《オンライン交流会》開催予定（任意参加、ワークショッププログラム参加者以外も参加可）

■ 申込方法

当財団ウェブサイト「研修事業」→「ステージラボ」(<https://www.jafra.or.jp/project/training/01.html>)から、①参加申込書、②アンケート回答票をダウンロードし※、必要事項をご記入のうえ、電子メール（宛先：kensyu@jafra.or.jp）でお申し込みください。

※民間事業者の場合は③副申書が別途必要

※申込書の受信連絡は行いません。確認が必要な場合は、お問合わせいただくか、「開封確認」を設定してください。

【申込締切】 令和3年1月20日（水）必着

【参加者の決定】

◎アンケート内容、応募状況などを考慮のうえ（アンケート重視）、参加の可否の調整を行い、申込者あて文書によりご連絡いたします。（令和3年2月上旬予定）

◎本ワークショッププログラムは、双方向オンラインツール（Zoom、Google ドライブ、Spatial.Chat 等）を使用して実施予定です。ウェブ会議ツール使用時は、原則、カメラ、オーディオ（スピーカー、マイク）機能を使用します。参加決定者は、各ツールを使用するために必要な環境を事前にご準備いただきます。

◎参加決定者には、事前課題としてプログラム①で使用する 2～3 分程度の動画を作成していただきます。詳細については、参加決定後にお知らせします。

◎本ワークショッププログラムの様子はアーカイブ映像として編集し、後日公開する予定です。

※オンラインツールの使用経験やご自身の受講環境、参加にあたって不安に思うこと等について、申込書類②アンケート回答票にてお伺いしております。その他、ご不明点がございましたら下記担当までお問い合わせください。

■コーディネータープロフィール

【コーディネーター】

白神 ももこ（振付家・演出家・ダンサー/富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督）

衣装デザインや保育士、イラストレーター、パリストなど多彩なパフォーマー達で構成されたダンス・パフォーマンスのグループモモンガ・コンプレックス (<https://momongacomplex.info/>) を主宰し、普段の生活の中の些細なできごとや個人史、願望などに着想したダンスを用いた作品を創作し活動している。2017-2018 年度セゾン文化財団ジュニアフェロー。ダンスウェル・ティーチャーズ・コース修了（イタリア・パッサーノ・デル・グラッパ市）。現在、劇作家・演出家の田上豊氏と共に富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督を務める。

【サブコーディネーター】

大園 康司（振付家・ダンサー・ワークショップデザイナー・舞台音響家/ダンスユニット・かえる P 主宰）

5 歳より日本舞踊を学ぶ。桜美林大学総合文化学群演劇専修卒業。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。2010 年より橋本規靖とダンスユニットかえる P (<https://kaeru-p.com/>) を結成し、多数のダンス作品を創作。また、小学校や地域コミュニティなどで幅広い年代を対象としたワークショップを実施している。近年の研究テーマは「ダンスとアーティストと街との関わり、持続可能性」について。そのほか、舞台音響プランナー/オペレーターとして演劇作品の創作現場に携わっている。

山本 麦子（愛知県芸術劇場 プロデューサー）

1982 年名古屋生まれ。大学卒業後、広告代理店営業職で 7 年勤務後、2014 年 4 月愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）に転職。同 7 月より企画制作グループにプロデューサーとして配属される。以後、主に演劇関係の自主事業担当として、AAF 戯曲賞、プロデュース公演、ファミリー・プログラム県内巡回公演等を担当している。2015 年ステージラボ広島セッション自主事業Ⅱ（演劇）コース参加。

ステージラボ オンラインセッション

【テーマ】 「地域」と「育む」これからの劇場運営

これまで文化・芸術のプラットフォームとして、舞台芸術の発信、人々の交流とにぎわい創出に取り組んできた公立文化施設では、コロナ禍においてアーティストの県を跨いでの移動に制限が設けられ、地域のなかで文化・芸術を発見し、育み、発信していくことが地域の文化・芸術の創造拠点として重要なミッションであると再認識されました。

本研修は、地域の資源や特色、人材を発見する目と、それを地域と一緒に育む対話力と、発信していくための方法を考察し、これからの劇場運営の在り方と、公立文化施設職員に求められる役割について考えます。

【開催概要】

日 程：令和 3 年 2 月 24 日（水）～26 日（金）[3 日間]

会 場：オンライン ※双方向オンラインツール（Zoom、Google ドライブ、Spatial.Chat 等）を使用予定

参加費：無料

主 催：（一財）地域創造

対 象：公立文化施設（ホール・劇場等）の職員および地域の文化・芸術に携わる地方公共団体の職員

実施予定プログラム：シンポジウム、ワークショッププログラム、オンライン交流会、アーカイブ配信（映像による研修）など

【ワークショッププログラム参加者募集】 令和 2 年 12 月 18 日（金）～令和 3 年 1 月 20 日（水）

【視聴者募集】 令和 3 年 1 月 25 日（月）～ ※一部プログラムは視聴対象外となる可能性があります。

お問合せ：（一財）地域創造 芸術環境部 児島・吉川・崎山 TEL：03-5573-4183 E-mail：kensyu@jafra.or.jp